

2025 年度体験交流会&総会のご報告

4月20日(日)松本市平瀬緑地にて2025年の県協会総会(下記参照)と体験交流会を開催しました。参加者は一般参加2名を含む8名。体験会では春日インストラクターと江口コーディネーターの2名が担当し、この日のために用意してきたアクティビティを披露してもらいました。大きさと住処のNGのハンデ付き「動物交差点」、身近な自然物をモチーフにデザインした「自然の紋」、自然の中で偉人の残したネイチャー名言の世界を味わう「ネイチャーメディテーション」の3つを体験しました。
この日はちょうど桜の満開日で、お昼はお花見を兼ねたランチミーティングで交流を深め充実した時間となりました。(県協会はるさん)



○総会の概要

・2024年度事業報告及び決算
収入 204,608円 日本協会助成金や信州環境カレッジ助成金等
支出 187,314円 概ね予定通り事業を実施
差引 +17,294円 繰越金を加えた翌年度繰越金434,844円



・2025年度事業計画及び予算
リーダー養成講座 ～ すわの会主管(10月12日)
フォローアップセミナー ～ きたしなの会主管(11月16日)
県協会自主企画セミナー ～ 11月15日開催予定
受託事業 ～ 信州環境カレッジ(坂の上小学校他)
予算 ～ 収入188,100円 支出188,100円



ネイチャーゲームリーダー養成講座 in 霧ヶ峰

身近な人々と自然をつなぐ、自然案内人になりませんか。会場は、自然だらけの霧ヶ峰高原を予定しております。

ネイチャーゲームリーダー養成講座を下記により開催します。
詳細については今後、日本協会ホームページ、県協会ホームページ等でお知らせいたします。
あなたの周りにいる方を、お誘いください。

開催概要

フィールド編 令和7年10月12日(日)
霧ヶ峰高原(霧ヶ峰自然保護センター(まか)) (諏訪市)
オンライン編 令和7年11月16日(日)

問合せ先
すわネイチャーゲームの会
桜井あすか
masukato49agh@gmail.com



※ 裏面につづきます →

アクティビティセミナー「葉っぱであそぼ！」 & フォローアップセミナー 2025

ネイチャーゲームには「ジャンケン落ち葉集め」「大きな葉っぱ」「落ち葉キャッチ」など、葉っぱや落ち葉をテーマにしたアクティビティが沢山あります。

葉っぱがあればできるアクティビティを、たくさん体験するセミナーです。

知っているけどなかなか体験できない「大地の窓」もできるかも！？

あなたも葉っぱ遊びの達人になりましょう！

あくる16日(日)には同会場でフォローアップセミナーも開催されます。

お申し込みは、QRコードから「共通申し込みフォーム」へアクセスし必要事項を選択、ご記入の上送信してください。フォームからの申し込みが難しい方は、セミナー担当 大坂までメールにてご連絡ください。申し込みに必要な事項を返信いたします。

じかき虫の日記



落ち葉キャッチ



○セミナーの概要

アクティビティセミナー「葉っぱであそぼ！」

日時：2025年11月15日(土) 13時～16時 日帰り半日

場所：安藤百福記念 アウトドアアクティビティセンター (小諸市)

参加費：一人3000円 子ども・付き添いの方 300円

内容：葉っぱや落ち葉をテーマとしたアクティビティを体験します。講師：大坂賢一 (長野県)



ジャンケン落ち葉集め

フォローアップセミナー2025

日時：2025年11月16日(日) 10時～16時 日帰り一日

場所：安藤百福記念 アウトドアアクティビティセンター (小諸市)

参加費：一人4000円 ニュージーリーダー3000円

子ども・付き添いの方 300円

内容：会員報「自然とわたし」2025に掲載の新アクティビティなどを体験します。



講師：原令子さん (岐阜県)



会場施設に宿泊できます。

ご希望の方は別途に宿泊食事の費用(5000円)がかかる事をご了解の上、お申込みください

お問い合わせ(申し込み)はこちらのQRコード

もしくは、担当 大坂まで kenchan.sn.nagano@gmail.com



棚田 CAMP 参加者を対象とした初のネイチャーゲーム

～上田市「稲倉の棚田」というフィールドにて～

うえだの会がリニューアルして初のメンバー合同活動として「上田市の稲倉の棚田」で実施した「棚田 CAMP」で2025年4月19日にネイチャーゲームを実施しました。農閑期の棚田にテントを張って里山でのキャンプを楽しむ「棚田 CAMP」参加者(アルバイトの大学生を含めた約20名)を対象とした会でした。

当日は良く晴れた天気の中、4つのゲームを1時間で行う予定でしたが時間が押してしまい「はじめまして」「動物交差点」「フィールドパターン」の3つとなっていました。幼児から大人まで順次進行する難しさはありましたが、大学生のフォローが繋ぎとなってバランスを保てた場面も多くありました。また、メンバーそれぞれが得意とする年齢層やゲームなども共有することができました。

ゲーム後の挨拶で、各々のキャンプサイトに戻った際は、目を閉じて、棚田に響き渡る様々な音を「サウンドマップ」の要領で感じるようお伝えしました。(うえだの会 ネイチャーゲームリーダー 玉崎修平)



<編集後記> 田んぼに水が入りました。順番に田植えが始まっています。そうすると、元気な蛙の声が響いてきます。もう少し水がぬるむとカブトエビが元気に泳ぎ回ります。田んぼに水が入って自然の一部になるような気がします。いつまでもこの景色が見られますように。(まゆさん)